

地域との連携を目指して

「ここでは、虐待によって親と子供が深い傷を負わないようにと、さまざまな取り組みを行っている保健センターの事業を紹介します。」



母子保健事業における取り組み

母子保健事業では、地域で親子が孤立せず安心して子育てができるよう、個別の相談を実施しています。また、身近な場所で子育て仲間と交流できる地区別の交流会の開催など、虐待に至らないような子育ての環境づくりを進めています。

こころの子育てサポート事業

平成十一年には、増え続ける児童虐待を予防・防止するた

児童虐待に気付いたら

身の回りや、子供が虐待されていることに気付いたり、疑いがあったりする時は、児童相談所へ連絡してください。児童相談所は、関係機関と協力して対応します。

なお、虐待の事実を証明したり、文書で報告したりする必要はありません。また、連絡された方のプライバシーは必ず守ります。

◆札幌市児童相談所

☎622-8630 FAX622-8701

(年末・年始及び祝日を除く月～金 午前8時45分～午後5時15分) なお、緊急の場合は、上記以外の時間も対応します)

育児に不安を感じたら

保健センターでは、乳幼児の健康や育児について、医師、保健婦(士)、栄養士、歯科衛生士、心理相談員などがさまざまな相談を受け付けています。また、母親の心の不安から生じる子供の情緒や言葉の発達などの心配ごとについても、相談に応じます。

地域で親子が孤立することなく、安心して子育てができるよう支援していきますので、気軽にお問合せください。

◆豊平保健センター

☎822-2400 内線516

(年末・年始及び祝日を除く月～金 午前8時45分～午後5時15分)

子供からの相談はこちらへ

学校や友達、家族のことなど、子供本人はもちろん、家族からも、電話で相談できます。

◆子ども電話相談

フリーダイヤル 0120-018742

(年末・年始及び祝日を除く月～金 午前8時45分～午後8時)

◆家庭児童相談員(区役所保健福祉サービス課)

☎822-2400 内線360

(年末・年始及び祝日を除く月～金 午前8時45分～午後5時15分)

◆YOU・勇・コール

☎854-2415 FAX836-4152

(いずれも24時間対応)

め、「こころの子育てサポート事業」を開始しました。この事業では、児童相談所の職員、医師、保育士などとともに、虐待の事例検討を行うほか、この問題に対する職員同士の認識を高めるため、研修を定期的にを行っています。また、地域の人たちにも児童虐待問題について関心を持ってもらおうと、啓発活動を展開しています。平成十二年には、ノンフィクション・ライターの椎名篤子氏を講師に迎え、「虐待を受けた子どもたちからのメッセージ」と題した講演会を行いました。この講演会には、地域から多



虐待を予防するために、「地域のつながり」が強調された講演会

くの人が参加し、「これからの子育てや地域がなすべきことが分かり、とても勉強になった」「このような講演会をもっと開催してほしい」といった声が多数寄せられました。これを受け、保健センターでは、地域からの要請に応じて、研修会を開いたり、専門家などを紹介したりしています。他区に先駆けて始まったこの事業の成果として、現在では、教育、福祉、医療などの関係機関との太いパイプが出来上がり、児童虐待に対し、速やかに、か

つ適切に対応できる体制が整いつつあります。豊平区では、地域ぐるみで児童虐待をなくしていくこと、平成十二年十一月、「豊平区児童虐待予防・防止ネットワーク会議」を発足させました。これは、行政、警察、教育、医療、福祉などの関係機関が連携を図り、児童の虐待予防・防止や早期発見を円滑に行えるよう話し合う会議です。この会議では、それぞれの関係機関が果たす役割を確認し、虐待に関する認識を高めるため、専門家を講師に招くなどして研修会を開催しています。また、個々の事例に関しては、事務局となっている保健センターが対応しています。

地域ぐるみで予防・防止を

地域健康づくり担当の鈴木はるみ係長は、育児中の親たちに対し、次のように呼び掛けています。

気軽に相談を



「『虐待をしてしまった』と、深刻に悩んでいたお母さんも、それを保健婦に打ち明けることで、安心した顔を見せてくれることがあります。育児で悩み事があれば、気軽に保健センターへご相談ください」

年々増え続ける児童虐待問題に対処していくためには、地域や各関係機関のつながりを強めていくことが必要です。

また、心を痛めた親や子が地域の中にいるということを知り、子育てを地域全体で支えていかなければなりません。

この問題は、地域の皆さん一人ひとりにとって、決して無関係なことではないのです。